

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成27年11月13日
【四半期会計期間】	第64期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	寿スピリッツ株式会社
【英訳名】	Kotobuki Spirits Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河越 誠剛
【本店の所在の場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画部部长 松本 真司
【最寄りの連絡場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画部部长 松本 真司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第2四半期連結 累計期間	第64期 第2四半期連結 累計期間	第63期
会計期間	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高 (千円)	10,889,697	12,110,660	22,966,612
経常利益 (千円)	721,585	1,305,938	2,069,722
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	412,980	966,207	1,304,696
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	428,012	967,730	1,345,005
純資産額 (千円)	8,062,203	9,473,843	8,979,196
総資産額 (千円)	13,995,143	14,932,851	14,695,017
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	39.81	93.14	125.77
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	57.6	63.4	61.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	577,226	994,650	1,895,830
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	352,964	341,284	834,103
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	620,051	879,516	996,863
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,094,765	2,413,336	2,555,418

回次	第63期 第2四半期 連結会計期間	第64期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	29.09	71.70

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました台湾北壽心股份有限公司（セグメント名称「その他」）は重要性が増したため連結の範囲に含めております。また、前連結会計年度末において清算中でありました株式会社ジャパルシー（セグメント名称「その他」）は、平成27年8月に清算終了いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、インバウンド（訪日外国人旅行者）の増加の勢いは依然として力強く推移し、また、消費マインドは消費税増税の影響が一巡し、持ち直しの兆しが見られます。一方で企業間競争の激化や原材料価格の高止まりなどコスト増加が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは『WSR』＝『ワールド サプライジング リゾート宣言』（世界へ、ありえないほどの驚きの、超感動を提供する）を経営スローガンとして掲げ、マーケット特性にマッチしたプレミアム・スイーツの提供、売場・接客サービスの向上、イベント・キャンペーン展開の推進などに取り組んでまいりました。また、当面の重点施策として首都圏エリアでのWSR展開の推進、インバウンド対策の強化、アジアを中心とした海外における事業モデルの構築などに注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、消費税増税の影響の一巡や6年ぶりとなる9月のシルバーウィークなど外部環境の改善傾向も追い風になり、積極的な事業施策の遂行により12,110百万円（前年同期比11.2%増）となりました。利益面におきましても、増収効果に加え、製造採算の改善や経費の効率的使用に努めたことにより営業利益は1,280百万円（前年同期比79.8%増）、経常利益は1,305百万円（前年同期比81.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の増益に加え、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上により税金費用が減少したことにより966百万円（前年同期比134.0%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増した台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

ケイシイシイ

「ルタオ」を擁するケイシイシイは、リニューアルした主力商品「ドゥーブルフロマージュ」のキャンペーン展開の推進、新千歳空港をはじめとする道内卸展開の強化などに注力いたしました。また、海外展開では、本年4月に韓国のパートナー企業とライセンス契約を締結し、ソウル・江南エリアにルタオ1号店がオープンいたしました。その結果、売上高は、3,899百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は352百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

寿製菓

寿製菓は、山陰地区が、出雲大社の遷宮効果の反動減の影響は一巡したものの依然として低調に推移いたしました。一方、「ラングドシャ」や「フィナンシェ」など焼き菓子系商品を中心に代理店及びグループ会社向け売上が堅調に推移した結果、売上高は4,285百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は391百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

販売子会社

販売子会社は、駅・空港・SAなどの交通拠点チャンネルを中心に、主力商品及び新商品の売場獲得などに注力いたしました。主要地域では、関西地区が関西国際空港での販売強化などにより増収となったほか、福岡地区においても、前期投入の新商品「まっかな苺のラングドシャ」の拡販強化が寄与し堅調に推移しました。その結果、売上高は2,468百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は174百万円（前年同期比82.0%増）となりました。

九十九島グループ

九十九島グループは、3年目を迎えたフレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」の認知度拡大に注力いたしました。業績面では、佐世保ハウステンボス地区の売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は1,694百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は49百万円（前年同期比120.8%増）となりました。

但馬寿

但馬寿は、地元営業（但馬地域）及び通信販売に注力いたしました。その結果、売上高は535百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は18百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

シュクレイ

首都圏において5ブランド16店舗の小売展開及び卸展開のシュクレイは、「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランド訴求力の向上を図るため、イベントによる店頭販促の充実、催事の推進、接客力の強化などに努め、好調に推移しました。その結果、売上高は、1,780百万円（前年同期比38.3%増）となり、営業利益は185百万円（前年同期比252.1%増）となりました。

その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。第1四半期連結会計期間より台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めたことにより、売上高は101百万円（前年同期比557.2%増）となり、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失36百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、14,932百万円となり、前連結会計年度末と比べ237百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（245百万円）、商品及び製品の増加（77百万円）及び現金及び預金の減少（142百万円）などの要因によるものです。

負債は、5,459百万円となり、前連結会計年度末と比べ256百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債における未払法人税等の増加（227百万円）、短期借入金の減少（300百万円）、その他の減少（246百万円）などの要因によるものです。

純資産は、9,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ494百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加（966百万円）、配当金の支払いによる減少（414百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加し、63.4%となり、1株当たり純資産は913円29銭となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ142百万円減少し、2,413百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、994百万円（前年同期比72.3%増）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,295百万円、減価償却費315百万円の計上があった一方、法人税等の支払243百万円、売上債権の増加額241百万円などの減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、341百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出260百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、879百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

主な要因は、配当金の支払414百万円及び短期借入金の純減少額300百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、23,452千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,373,840	10,373,840	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	10,373,840	10,373,840	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	10,373,840	-	1,217,800	-	550,269

(6) 【大株主の状況】

平成27年 9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
エスカワゴエ株式会社	鳥取県米子市旗ヶ崎 9 - 8 - 24	3,100	29.89
寿スピリッツ従業員持株会	鳥取県米子市旗ヶ崎2028寿製菓(株)内	358	3.46
株式会社山陰合同銀行	鳥根県松江市魚町10	300	2.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町 2 - 11 - 3	257	2.48
とりぎんリース株式会社	鳥取県鳥取市扇町 9 - 2	254	2.45
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT , UK (東京都中央区日本橋 3 - 11 - 1)	195	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海 1 - 8 - 11	170	1.65
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲 2 - 10 - 17	120	1.16
福山通運株式会社	広島県福山市東深津町 4 - 20 - 1	120	1.16
高橋 紀代子	鳥取県米子市	111	1.06
計	-	4,987	48.08

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年 9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,371,700	103,717	-
単元未満株式	普通株式 1,640	-	-
発行済株式総数	10,373,840	-	-
総株主の議決権	-	103,717	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数60個が含まれております。

【自己株式等】

平成27年 9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
寿スピリッツ株式会社	鳥取県米子市旗ヶ崎 2 0 2 8 番地	500	-	500	0.00
計	-	500	-	500	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,755,418	2,613,336
受取手形及び売掛金	2,337,691	2,582,768
商品及び製品	639,392	716,990
仕掛品	32,110	38,036
原材料及び貯蔵品	353,414	362,069
その他	510,800	522,479
貸倒引当金	22,665	31,208
流動資産合計	6,606,160	6,804,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,091,537	3,058,114
機械装置及び運搬具(純額)	847,733	852,770
工具、器具及び備品(純額)	247,631	251,363
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産(純額)	6,475	13,052
建設仮勘定	11,385	48,248
有形固定資産合計	6,705,428	6,724,214
無形固定資産	102,565	129,086
投資その他の資産		
その他	1,297,908	1,291,298
貸倒引当金	17,044	16,217
投資その他の資産合計	1,280,864	1,275,081
固定資産合計	8,088,857	8,128,381
資産合計	14,695,017	14,932,851
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	807,578	979,997
短期借入金	1,450,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	258,672	184,826
未払法人税等	241,871	469,359
賞与引当金	441,723	475,898
その他	1,059,689	813,544
流動負債合計	4,259,533	4,073,624
固定負債		
長期借入金	316,513	236,705
退職給付に係る負債	920,639	941,702
その他	219,136	206,977
固定負債合計	1,456,288	1,385,384
負債合計	5,715,821	5,459,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	6,378,767	6,872,020
自己株式	543	672
株主資本合計	8,919,185	9,412,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,011	60,102
為替換算調整勘定	-	1,432
その他の包括利益累計額合計	60,011	61,534
純資産合計	8,979,196	9,473,843
負債純資産合計	14,695,017	14,932,851

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,889,697	12,110,660
売上原価	5,270,377	5,574,250
売上総利益	5,619,320	6,536,410
販売費及び一般管理費	4,907,205	5,255,946
営業利益	712,115	1,280,464
営業外収益		
受取利息	174	266
受取配当金	2,087	2,311
受取地代家賃	8,023	9,147
受取補償金	-	7,581
その他	18,114	17,784
営業外収益合計	28,398	37,089
営業外費用		
支払利息	11,310	7,108
その他	7,618	4,507
営業外費用合計	18,928	11,615
経常利益	721,585	1,305,938
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,809
固定資産売却益	-	525
特別利益合計	-	2,334
特別損失		
固定資産売却損	-	2,144
固定資産除却損	5,881	10,196
減損損失	11,513	-
特別損失合計	17,394	12,340
税金等調整前四半期純利益	704,191	1,295,932
法人税等	291,211	329,725
四半期純利益	412,980	966,207
親会社株主に帰属する四半期純利益	412,980	966,207

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	412,980	966,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,032	91
為替換算調整勘定	-	1,432
その他の包括利益合計	15,032	1,523
四半期包括利益	428,012	967,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,012	967,730

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	704,191	1,295,932
減価償却費	302,307	315,047
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,809
減損損失	11,513	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,154	7,716
賞与引当金の増減額(は減少)	32,780	34,175
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	28,893	21,063
受取利息及び受取配当金	2,261	2,577
支払利息	11,310	7,108
固定資産売却損益(は益)	-	1,619
固定資産除却損	5,881	10,196
受取補償金	-	7,581
売上債権の増減額(は増加)	230,964	241,424
たな卸資産の増減額(は増加)	75,620	90,968
仕入債務の増減額(は減少)	63,854	165,013
その他	49,867	278,241
小計	1,265,099	1,235,269
利息及び配当金の受取額	1,752	2,548
利息の支払額	11,101	6,760
補償金の受取額	-	7,581
法人税等の支払額	678,524	243,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,226	994,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	501	3
投資有価証券の売却による収入	-	2,745
有形固定資産の取得による支出	320,785	260,267
有形固定資産の売却による収入	-	2,047
無形固定資産の取得による支出	20,625	43,960
出資金の回収による収入	191	538
敷金及び保証金の差入による支出	14,192	36,444
敷金及び保証金の回収による収入	2,724	20,087
その他	224	26,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	352,964	341,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	300,000
長期借入金の返済による支出	190,814	153,654
ファイナンス・リース債務の返済による支出	6,678	3,298
自己株式の取得による支出	122	129
配当金の支払額	414,937	414,935
その他	7,500	7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	620,051	879,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	3,603
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	395,789	229,753
現金及び現金同等物の期首残高	2,490,554	2,555,418
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	87,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,094,765	2,413,336

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、台湾北壽心股份有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、前連結会計年度に連結子会社でありました株式会社ジャパルシーは平成27年8月に清算したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。ただし、清算終了までの損益計算書は連結しております。

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業活動に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
従業員給料・賞与	1,420,986千円	1,536,294千円
販売促進費	830,622	846,296
貸倒引当金繰入額	1,155	7,716
賞与引当金繰入額	224,045	234,663
退職給付費用	29,574	21,804

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	2,294,765千円	2,613,336千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	200,000	200,000
現金及び現金同等物	2,094,765	2,413,336

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	414,937	40.00	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	414,935	40.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,244,297	2,560,813	2,215,264	1,432,030	135,606	1,287,301	10,875,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	443,742	1,289,555	2,033	143,171	394,215	-	2,272,716
計	3,688,039	3,850,368	2,217,297	1,575,201	529,821	1,287,301	13,148,027
セグメント利益 (は損失)	285,111	283,225	95,951	22,236	26,720	52,710	765,953

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	14,386	10,889,697	-	10,889,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,068	2,273,784	2,273,784	-
計	15,454	13,163,481	2,273,784	10,889,697
セグメント利益 (は損失)	36,754	729,199	17,084	712,115

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額 17,084千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額307,324千円、セグメント間取引消去額8,831千円、たな卸資産の調整額 6,092千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 327,147千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シュクレイ」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった事業資産に係る減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は11,513千円あります。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,407,788	2,703,184	2,466,302	1,511,030	140,891	1,780,891	12,010,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	491,690	1,582,515	2,235	183,462	394,309	-	2,654,211
計	3,899,478	4,285,699	2,468,537	1,694,492	535,200	1,780,891	14,664,297
セグメント利益 (は損失)	352,166	391,432	174,656	49,108	18,531	185,599	1,171,492

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	100,574	12,110,660	-	12,110,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	989	2,655,200	2,655,200	-
計	101,563	14,765,860	2,655,200	12,110,660
セグメント利益 (は損失)	28,294	1,143,198	137,266	1,280,464

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。また、台湾北壽心股份有限公司は重要性が増したことから第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含め、「その他」に加えております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額137,266千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額443,107千円、セグメント間取引消去額8,152千円、たな卸資産の調整額15,015千円、各報告セグメントに配分していない全社費用298,978千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

著しい変動がないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	39円81銭	93円14銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	412,980	966,207
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	412,980	966,207
普通株式の期中平均株式数(株)	10,373,376	10,373,345

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月5日

寿スピリッツ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂東 正裕 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 英俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている寿スピリッツ株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、寿スピリッツ株式会社及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。